

イーストスプリング・
タイ株式オープン

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2017年6月13日～2017年12月11日

第9期 2017年12月11日決算

日経新聞掲載名：タイ株

第9期末	基準価額	10,881円
	純資産総額	384百万円
第9期	騰落率	18.2%
	分配金合計	1,000円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

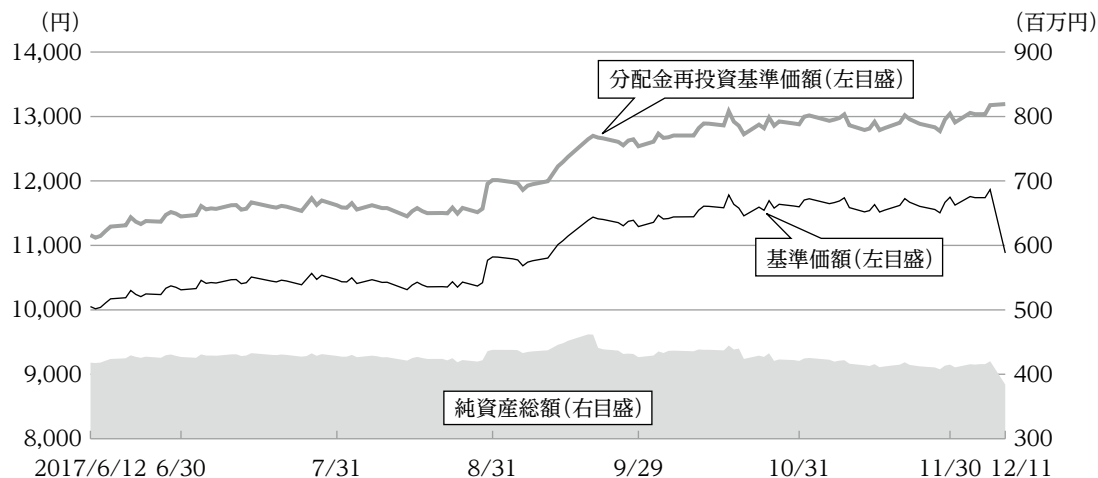
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「運用状況」のタブを選択⇒当ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2017年6月13日～2017年12月11日)



第 9 期 首	10,051円
第 9 期 末	10,881円 (既払分配金1,000円)
騰 落 率	18.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・国内の政情安定化への期待などを背景にタイの株式市場が上昇したこと。
- ・タイバーツが対円で上昇したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2017年6月13日～2017年12月11日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	78円	0.711%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,039円です。
(投信会社)	(33)	(0.296)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(45)	(0.404)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	6	0.055	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(3)	(0.031)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	(0)	(0.003)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	84	0.766	

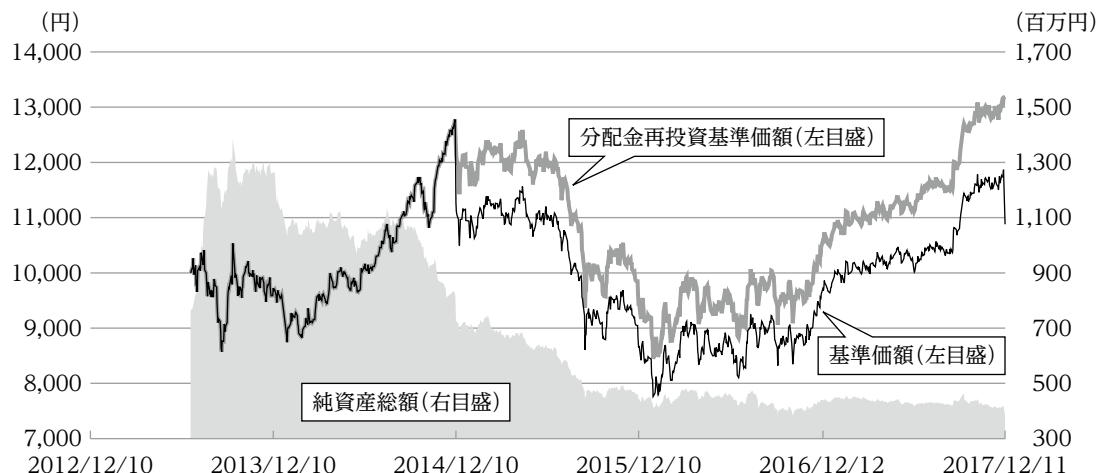
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について（2012年12月10日～2017年12月11日）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2013/6/28 設定日	2013/12/10	2014/12/10	2015/12/10	2016/12/12	2017/12/11
基準価額	(円)	10,000	9,723	11,274	8,649	9,714	10,881
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	0	1,000	0	0	1,200
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	-2.8	26.2	-23.3	12.3	24.7
純資産総額	(百万円)	763	1,267	733	441	439	384

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定元本を記載しております。

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

タイ株式市場

タイの株式市場は、期初から2017年8月下旬にかけて、ほぼ横ばいの値動きが続きました。インラック前首相の国外逃亡が報道されると、政治衝突リスクが緩和されたとの見方が台頭し、株式市場は大きく上昇しました。9月以降もタイ国内において政情安定化への期待が持続したことや原油価格の上昇を背景に時価総額の大きい資源株が堅調となったことなどから、10月にかけて株式市場は上昇基調で推移しました。その後は高値警戒感から様子見の姿勢が強まりましたが、期初からの上昇分を維持したまま期末を迎えました。

為替市場

タイバーツは期中、対米ドルで一貫して上昇しました。世界的な景気回復を背景とした輸出額の増加などによって、経常収支の改善期待が高まったことが上昇要因となりました。また円が対米ドルで下落したことから、タイバーツは対円でも上昇しました。

国内債券市場

当期の日本国債市場は、期中上下しましたが、通期では小動きとなりました。2017年7月上旬、欧米の中央銀行総裁による金融緩和縮小を示唆する発言から欧米債券が下落し、日本国債も連れ安（利回りは上昇）となる場面がありました。しかし、その後は北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりや欧米債券の買い戻しを受けて日本国債は反発（利回りは低下）しました。9月に米国債券が再び下落すると日本国債も連れ安となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ－タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「タイランド・エクイティ」といいます。）への投資比率を高位に保つよう運用しました。

タイランド・エクイティ

タイ株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は堅調な観光客数

の増加を背景とした業績成長期待から上昇した空港運営会社のAirports of Thailandや原油高を背景に株価が堅調に推移した石油、ガス会社のPTTなどの保有がプラス要因となりました。一方、業績悪化懸念から下落したセメント生産会社のSiam Cementなどの保有はマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目		第9期
		2017年6月13日 ～2017年12月11日
当期分配金	(円)	1,000
（対基準価額比率）	(%)	8.417
当期の収益	(円)	1,000
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,088

（注1）「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）—印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるタイランド・エクイティへの投資比率を高位に保つことを基本とします。

タイランド・エクイティ

タイ経済は安定化の兆しを見せています。輸出金額の伸びは堅調に推移していますが、パーツ高が継続する中でこれまでの回復ペースを維持できるかが注目されています。またタイでは2018年11月に総選挙が行われる見通しであり、民政移管に向けたスケジュールについては今後も状況を注視して参ります。引き続き景気や政治の動向等に注意しながら、ファンダメンタルズが良好で割安な銘柄への選別投資を行っていく方針です。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。欧米国債市場の変動性が高まっていることから、国内だけでなく海外の状況も注視しながら運用を行って参ります。

お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

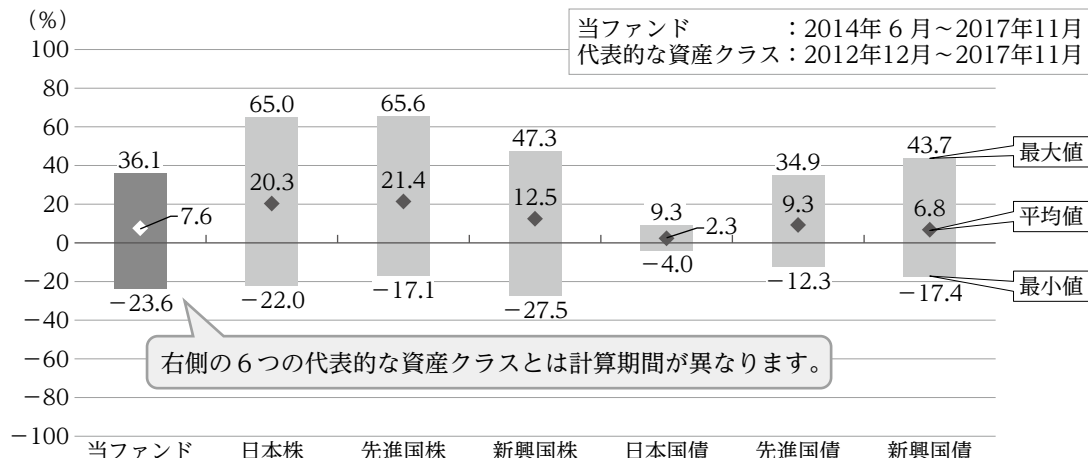
商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年6月28日から2023年6月12日まで
運用方針	主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日および12月10日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標準に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI 国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P. モルガン GBI-E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

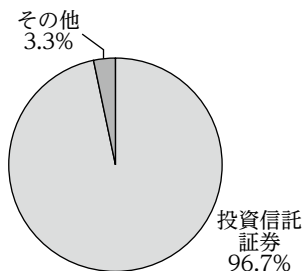
組入ファンド

(組入銘柄数：2 銘柄)

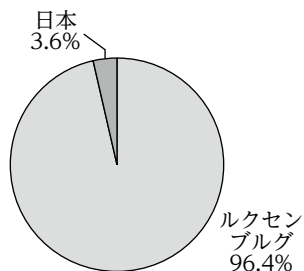
ファンド名	第9期末 2017年12月11日
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ	96.4%
イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	0.3%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

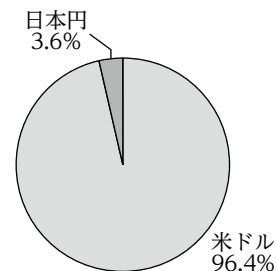
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第9期末 2017年12月11日
純資産総額 (円)	384,117,152
受益権総口数 (口)	353,022,548
1 万口当たり基準価額 (円)	10,881

* 当期中において追加設定元本額は32,510,351円、一部解約元本額は95,331,336円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(2016年1月1日～2016年12月31日)



○1万口当たりの費用明細

(2016年1月1日～2016年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

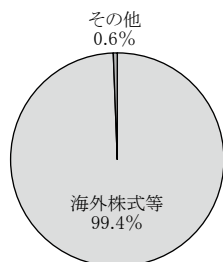
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンドの内容です。

○組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 49銘柄)

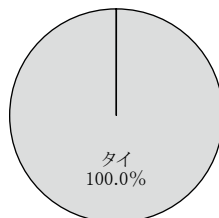
(2016年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	PTT PCL (Foreign Market)	エネルギー	タイ	10.1%
2	Siam Commercial Bank PCL (Foreign Market)	銀行	タイ	6.4%
3	Siam Cement PCL NVDR	素材	タイ	6.3%
4	CP ALL PCL (Foreign Market)	食品・生活必需品小売り	タイ	5.7%
5	Airports of Thailand PCL (Foreign Market)	運輸	タイ	5.7%
6	Advanced Info Service PCL (Foreign Market)	電気通信サービス	タイ	4.8%
7	Kashikornbank PCL (Foreign Market)	銀行	タイ	4.7%
8	PTT Global Chemical PCL (Foreign Market)	素材	タイ	4.4%
9	PTT Exploration & Production PCL (Foreign Market)	エネルギー	タイ	4.1%
10	Bangkok Dusit Medical Services PCL (Foreign Market)	ヘルスケア機器・サービス	タイ	3.8%

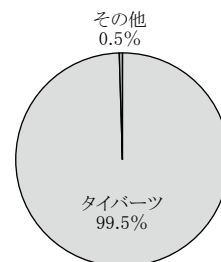
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

○基準価額の推移

(2016年2月26日～2017年2月27日)



○1万口当たりの費用明細

(2016年2月26日～2017年2月27日)

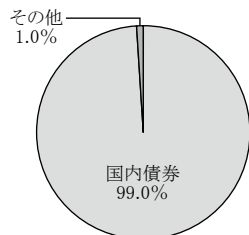
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	24円	0.217%
(投信会社)	(15)	(0.141)
(販売会社)	(2)	(0.022)
(受託会社)	(6)	(0.054)
(b) その他費用	6	0.052
(監査費用)	(6)	(0.051)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	30	0.269

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:21銘柄)

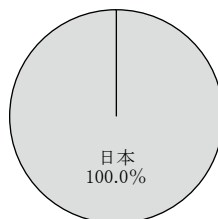
(2017年2月27日現在)

	銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
1	第285回利付国債(10年)	国債	1.7%	2017/3/20	日本	9.8%
2	第80回利付国債(20年)	国債	2.1%	2025/6/20	日本	8.4%
3	第87回利付国債(20年)	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.1%
4	第63回利付国債(20年)	国債	1.8%	2023/6/20	日本	6.9%
5	第48回利付国債(20年)	国債	2.5%	2020/12/21	日本	6.8%
6	第311回利付国債(10年)	国債	0.8%	2020/9/20	日本	6.4%
7	第67回利付国債(20年)	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.3%
8	第69回利付国債(20年)	国債	2.1%	2024/3/20	日本	5.7%
9	第53回利付国債(20年)	国債	2.1%	2021/12/20	日本	5.4%
10	第47回利付国債(20年)	国債	2.2%	2020/9/21	日本	5.3%

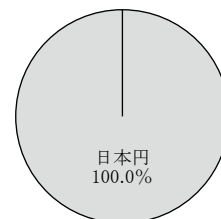
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。